

◎千九百七十三年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する千九百七十八年の議定書

(略称) 一九七三年船舶汚染防止国際条約一九七八年議定書

昭和五十三年 二月十七日 ロンドンで作成

昭和五十八年 十月二日 効力発生

昭和五十八年 四月二十七日 国会承認

昭和五十八年 五月二十四日 加入の閣議決定

昭和五十八年 六月九日 加入書寄託

昭和五十八年 六月十一日 公布及び告示

(条約第三号及び外務省告示第一八六号)

昭和五十八年 十月二日 我が国について効力発生

目次	ページ
前文	二六三

第一条 一般的義務	二六三
-----------	-----

第二条 条約附属書Ⅱの実施	二六四
---------------	-----

第三条 情報の送付	二六四
-----------	-----

一九七三年船舶汚染防止国際条約一九七八年議定書

三五四

第四条 署名、批准、受諾、承認及び加入

三六五

第五条 効力発生

三六五

第六条 改正

三六六

第七条 廃棄

三六六

第八条 寄託者

三六七

第九条 用語

三六七

末文

三六八

附 属 書 千九百七十三年の船舶による汚染の防止のための国際条約の修正及び追加

三六八

附 属 書 I 油による汚染の防止のための規則

三六八

第一 規則 定義

三六八

第二 規則 適用

三七一

第三 規則 同等と認められる取付け物、材料、器具又は装置

三七一

第四 規則 検査

三七一

第五 規則 証書の発給

三七五

第六 規則 旗国以外の締約国の政府による証書の発給

三七五

第七 規則 証書の様式

三七五

第八 規則 証書の有効期間

三七六

第九 規則 油の排出規制

三七六

第十 規則 特別海域において運航している船舶からの油による汚染の防止のための方法

三七七

第十一 規則 適用除外

三七七

第十二 規則 受入施設

三七七

第十三 規則 分離バラスト油タンカー

三七七

第十三A規則	クリーンバラスト・タンクを有する油タンカーの要件	三八一
第十三B規則	原油洗浄の要件	三八二
第十三C規則	特殊な運航に従事する現存船である油タンカー	三八四
第十三D規則	特殊なバラスト方式を用いる現存船である油タンカー	三八五
第十三E規則	分離バラスト・タンクの防護的配置	三八六
第十四規則	油とバラスト水との分離	三八九
第十五規則	船内における油の保留	三八九
第十六規則	油排出監視制御装置及び油水分離器	三八九
第十七規則	油性残留物（スラッジ）のためのタンク	三八九
第十八規則	油タンカーの吸排設備、管系及び排出設備	三九〇
第十九規則	標準排出連結具	三九一
第二十規則	油記録簿	三九一
第二十一規則	掘削装置その他のプラットフォームについての特別の要件	三九一
第二十二規則	損傷範囲の仮定	三九一
第二十三規則	油の仮想流出量	三九一
第二十四規則	貨物タンクの大きさ及び配置の制限	三九一
第二十五規則	区画及び復原性	三九二
付録Ⅰ	油の表	三九二
付録Ⅱ	証書の様式	三九二
付録Ⅲ	油記録簿の様式	四〇一
追補一	クリーン・バラスト・タンクを用いて運航する油タンカー用の油記録簿の追補の様式	四〇一

一九七三年船舶汚染防止国際条約一九七八年議定書

三五六

追補二 原油洗浄による貨物タンク洗浄方式を用いて運航する原油タンカー用の油

記録簿の追補の様式

追補三 特殊な運航に従事する油タンカー用の油記録簿の追補の様式

附屬書Ⅱ ばら積みの有害液体物質による汚染の規制のための規則

附屬書Ⅲ 容器、貨物コンテナ、可搬式タンク、道路用タンク車又は鉄道用タンク車への収納の状態で

海上において運送される有害物質による汚染の防止のための規則

附屬書Ⅳ 船舶からの汚水による汚染の防止のための規則

附屬書Ⅴ 船舶からの廃物による汚染の防止のための規則

(参 考)

◎千九百七十三年の船舶による汚染の防止のための国際条約

前 文

第一条 この条約に基づく一般的義務

第二条 定義

第三条 適用

第四条 違反

第五条 証書及び船舶の監督に関する特別規制

第六条 違反の発見及びこの条約の実施

第七条 船舶の出航の不当な遅延の回避

第八条 有害物質に係る事件の通報

第九条 他の条約及び解釈

第十条 紛争の解決

第十一条 情報の送付

四一一  
四一一  
四一一  
四一二  
四一二  
四一二  
四一三  
四一三  
四一四  
四一四  
四一四  
四一四

第十二条 海難……………四一五

第十三条 署名、批准、受諾、承認及び加入……………四一五

第十四条 選択附属書……………四一五

第十五条 効力発生……………四一五

第十六条 改正……………四一六

第十七条 技術協力の促進……………四一七

第十八条 廃棄……………四一八

第十九条 寄託及び登録……………四一八

第二十条 用語……………四一八

末 文……………四一八

議定書Ⅰ 条約第八条の規定に基づく有害物質に係る事件の通報に関する規則……………四一八

第一条 通報の義務……………四一八

第二条 通報の方法……………四一八

第三条 通報の必要がある場合……………四一九

第四条 通報の内容……………四一九

第五条 補足通報……………四一九

議定書Ⅱ 条約第十条の規定に基づく仲裁……………四一九

第一条……………四一九

第二条……………四二〇

第三条……………四二〇

第四条……………四二〇

第五条……………四二〇

第六条	四二〇
第七条	四二一
第八条	四二一
第九条	四二一
第十条	四二一
附属書Ⅰ 油による汚染の防止のための規則	四二一
第一章 総則	四二一
第一 規則 定義	四二一
第二 規則 適用	四二三
第三 規則 同等と認められる取付け物、材料、器具又は装置	四二四
第四 規則 検査	四二四
第五 規則 証書の廃給	四二五
第六 規則 旗国以外の締約国の政府による証書の発給	四二五
第七 規則 証書の様式	四二五
第八 規則 証書の有効期間	四二五
第二章 運航に伴う汚染の規制のための要件	四二六
第九 規則 油の排出規制	四二六
第十 規則 特別海域において運航している船舶からの油による汚染の防止のための方法	四二七
第十一 規則 適用除外	四二九
第十二 規則 受入施設	四三〇
第十三 規則 分離バラスト油タンカー	四三一
第十四 規則 油とバラスト水との分離	四三一

第十五規則	船内における油の保留	四三一
第十六規則	油排出監視制御装置及び油分離器	四三三
第十七規則	油性残留物（スラッジ）のためのタンク	四三四
第十八規則	油タンカーの吸排設備、管系及び排出設備	四三四
第十九規則	標準排出連結具	四三五
第二十規則	油記録簿	四三五
第二十一規則	掘削装置その他のプラットフォームについての特別の要件	四三六
第三章	油タンカーの船側損傷及び船底損傷に伴う油による汚染を最小にするための要件	四三六
第二十二規則	損傷範囲の仮定	四三六
第二十三規則	油の仮想流出量	四三七
第二十四規則	貨物タンクの大きさ及び配置の制限	四三八
第二十五規則	区画及び復原性	四三九
付録Ⅰ	油の表	四四一
付録Ⅱ	証書の様式	四四二
付録Ⅲ	油記録簿の様式	四四四
Ⅰ	油タンカー用	四四四
Ⅱ	油タンカー以外の船舶用	四四七
附屬書Ⅱ	ばら積み有害液体物質による汚染の規制のための規則	四四九
第一規則	定義	四四九
第二規則	適用	四四九
第三規則	有害液体物質の分類及び表	四四九
第四規則	無害と考えられる液体物質	四五〇

第五規則	有害液体物質の排出	四五〇
第六規則	適用除外	四五三
第七規則	受入施設	四五三
第八規則	規制措置	四五四
第九規則	貨物記録簿	四五六
第十規則	検査	四五七
第十一規則	証書の発給	四五八
第十二規則	証書の有効期間	四五八
第十三規則	事故による汚染を最小にするための要件	四五九
付録Ⅰ	有害液体物質の分類のための指針	四五九
付録Ⅱ	ばら積みで運送される有害液体物質の表	四六〇
付録Ⅲ	ばら積みで運送される無害と考えられる液体物質の表	四六三
付録Ⅳ	ばら積みの有害液体物質を運送する船舶のための貨物記録簿の様式	四六三
付録Ⅴ	証書の様式	四六四
附属書Ⅲ	容器、貨物コンテナ、可搬式タンク、道路用タンク車又は鉄道用タンク車への収納の状態 海上において運送される有害物質による汚染の防止のための規則	四六五
第一規則	適用	四六五
第二規則	包装	四六六
第三規則	表示及び標識	四六六
第四規則	書類	四六六
第五規則	積付け	四六六
第六規則	積載量の制限	四六六



第七規則 適用除外	四六七
第八規則 通報	四六七

附屬書IV 船舶からの汚水による汚染の防止のための規則

第一規則 定義	四六七
第二規則 適用	四六七
第三規則 検査	四六八
第四規則 証書の発給	四六九
第五規則 旗国以外の締約国の政府による証書の発給	四六九
第六規則 証書の様式	四六九
第七規則 証書の有効期間	四六九
第八規則 汚水の排出	四七〇
第九規則 適用除外	四七〇
第十規則 受入施設	四七〇
第十一規則 標準排出連結具	四七〇

付録 証書の様式

附屬書V 船舶からの廃物による汚染の防止のための規則

第一規則 定義	四七二
第二規則 適用	四七二
第三規則 特別海域外における廃物の処分	四七二
第四規則 廃物の処分に関する特別の要件	四七三
第五規則 特別海域における廃物の処分	四七三
第六規則 適用除外	四七四

一九七三年船舶污染防治國際條約一九七八年議定書	三六二
第七 規則 受入施設	四七四

千九百七十三年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する千九百七十八年の議定書

この議定書の締約国は、  
千九百七十三年の船舶による汚染の防止のための国際条約が  
海洋環境を船舶による汚染から保護する上で重要な貢献をする  
ものであることを認め、

船舶、特に油タンカーによる海洋汚染の防止及び規制を一層  
増進する必要があることを認め、

同条約附属書Ⅰの油による汚染の防止のための規則をできる  
限り早期に、かつ、広範に実施する必要があることを認め、

しかしながら、同条約附属書Ⅱの適用を技術的問題が十分に  
解決されるまで延期する必要があることを確認し、

千九百七十三年の船舶による汚染の防止のための国際条約に  
関する議定書の締結によりこれらの目的を最もよく達成するこ  
とができることを考慮して、  
次のとおり協定した。

## 第一条 一般的義務

一般的義務

1 この議定書の締約国は、次の文書を実施することを約束す  
る。

- (a) この議定書及びこの議定書の不可分の一部を成す附属書  
千九百七十三年の船舶による汚染の防止のための国際条  
約（以下「条約」という。）。ただし、この議定書における

PROTOCOL OF 1978 RELATING TO THE INTERNATIONAL CONVENTION  
FOR THE PREVENTION OF POLLUTION FROM SHIPS, 1973

THE PARTIES TO THE PRESENT PROTOCOL,

RECOGNIZING the significant contribution which can be made by the  
International Convention for the Prevention of Pollution from Ships,  
1973, to the protection of the marine environment from pollution from  
ships,

RECOGNIZING ALSO the need to improve further the prevention and  
control of marine pollution from ships, particularly oil tankers,

RECOGNIZING FURTHER the need for implementing the Regulations for  
the Prevention of Pollution by Oil contained in Annex I of that  
Convention as early and as widely as possible,

ACKNOWLEDGING HOWEVER the need to defer the application of  
Annex II of that Convention until certain technical problems have been  
satisfactorily resolved,

CONSIDERING that these objectives may best be achieved by the  
conclusion of a Protocol relating to the International Convention for  
the Prevention of Pollution from Ships, 1973,

HAVE AGREED as follows:

### ARTICLE I

#### General Obligations

1. The Parties to the present Protocol, undertake to give effect to  
the provisions of:

- (a) the present Protocol and the Annex hereto which shall  
constitute an integral part of the present Protocol; and
- (b) the International Convention for the Prevention of Pollution  
from Ships, 1973 (hereinafter referred to as "the

一九七三年船舶汚染防止国際条約一九七八年議定書

条約の修正及び追加の規定に従うことを条件とする。

2 条約及びこの議定書は、単一の文書として一括して読まれ、かつ、解釈されるものとする。

3 「この議定書」というときは、この議定書の附属書を含めていうものとする。

第二条 条約附属書Ⅱの実施

1 条約第十四条(1)の規定にかかわらず、この議定書の締約国は、この議定書の効力発生の日から三年間又は政府間海事協議機関（以下「機関」という。）の海洋環境保護委員会（以下「委員会」という。）においてこの議定書の締約国の三分の二以上の多数により決定されるこれよりも長い期間、条約附属書Ⅱに拘束されないことを合意する。

2 1に定める期間中、この議定書の締約国は、条約附属書Ⅱに関する事項についていかなる義務も負わず、かつ、いかなる特権も主張する権利を有しないものとし、条約において「締約国」というときは、附属書Ⅱに関する事項についてはこの議定書の締約国を含まない。

第三条 情報の送付

条約第十一条(1)(b)を次のように改める。

有害物質を運送する船舶の設計、構造、設備及び運航に

Convention"), subject to the modifications and additions set out in the present Protocol.

2. The provisions of the Convention and the present Protocol shall be read and interpreted together as one single instrument.

3. Every reference to the present Protocol constitutes at the same time a reference to the Annex hereto.

ARTICLE II

Implementation of Annex II of the Convention

1. Notwithstanding the provisions of Article 14(1) of the Convention, the Parties to the present Protocol agree that they shall not be bound by the provisions of Annex II of the Convention for a period of three years from the date of entry into force of the present Protocol or for such longer period as may be decided by a two-thirds majority of the Parties to the present Protocol in the Marine Environment Protection Committee (hereinafter referred to as "the Committee") of the Inter-Governmental Maritime Consultative Organization (hereinafter referred to as "the Organization").

2. During the period specified in paragraph 1 of this Article, the Parties to the present Protocol shall not be under any obligations nor entitled to claim any privileges under the Convention in respect of matters relating to Annex II of the Convention and all reference to Parties in the Convention shall not include the Parties to the present Protocol in so far as matters relating to that Annex are concerned.

ARTICLE III

Communication of Information

The text of Article 11(1)(b) of the Convention is replaced by the following:

関する事項について規則に基づき当該締約国に代わつて行動する権限を与えられた指名された検査員又は認定された団体の一覧表（締約国の職員が了知するようすべての締約国に対し回章に付するため送付する）。主管庁は、指名した検査員又は認定した団体に与える権限についてその責任の範囲及び条件を機関に通報する。

#### 第四条 署名、批准、受諾、承認及び加入

1 この議定書は、機関の本部において、千九百七十八年六月一日から千九百七十九年五月三十一日までは署名のため、その後は加入のため、開放しておく。いずれの国も、次のいずれかの方法により締約国となることができる。

- (a) 批准、受諾又は承認を条件とすることなく署名すること。
- (b) 批准、受諾又は承認を条件として署名した後、批准し、受諾し又は承認すること。
- (c) 加入すること。

2 批准、受諾、承認又は加入は、これらのための文書を機関の事務局長に寄託することによつて行ふ。

#### 第五条 効力発生

1 この議定書は、十五以上の国であつてその商船舶腹量の合計が総トン数で世界の商船舶腹量の五十パーセントに相当す

一九七三年船舶汚染防止国際条約一九七八年議定書

"a list of nominated surveyors or recognized organizations which are authorized to act on their behalf in the administration of matters relating to the design, construction, equipment and operation of ships carrying harmful substances in accordance with the provisions of the Regulations for circulation to the Parties for information of their officers. The Administration shall therefore notify the Organization of the specific responsibilities and conditions of the authority delegated to nominated surveyors or recognized organizations."

#### ARTICLE IV

##### Signature, Ratification, Acceptance, Approval and Accession

1. The present Protocol shall be open for signature at the Headquarters of the Organization from 1 June 1978 to 31 May 1979 and shall thereafter remain open for accession. States may become Parties to the present Protocol by:

- (a) signature without reservation as to ratification, acceptance or approval; or
  - (b) signature, subject to ratification, acceptance or approval, followed by ratification, acceptance or approval; or
  - (c) accession.
2. Ratification, acceptance, approval or accession shall be effected by the deposit of an instrument to that effect with the Secretary-General of the Organization.

#### ARTICLE V

##### Entry into Force

1. The present Protocol shall enter into force twelve months after the date on which not less than fifteen States, the combined merchant fleets of which constitute not less than fifty per cent of the gross

る商船舶腹量以上となる国が前条に定めるところにより締約国となつた日の後十二箇月で、効力を生ずる。

2 この議定書の効力発生の日の後に寄託される批准書、受諾書、承認書又は加入書は、寄託の日の後三箇月で、効力を生ずる。

3 この議定書の改正が条約第十六条に定めるところにより受諾されたときなされる日の後に寄託される批准書、受諾書、承認書又は加入書は、改正された議定書に係るものとする。

#### 第六条 改正

条約第十六条に定める条約の条、附属書及び附属書の付録の改正に関する手続は、それぞれこの議定書の条、附属書及び附属書の付録の改正について準用する。

#### 第七条 廃棄

1 この議定書の締約国は、自国についてこの議定書の効力が生じた日から五年を経過した後は、いつでもこの議定書を廃棄することができる。

2 廃棄は、機関の事務局長に廃棄書を寄託することによつて行ふ。

3 廃棄は、機関の事務局長が廃棄書を受領した後十二箇月で、又は廃棄書に明記された十二箇月よりも長い期間の後に、効力を生ずる。

tonnage of the world's merchant shipping, have become Parties to it in accordance with Article IV of the present Protocol.

2. Any instrument of ratification, acceptance, approval or accession deposited after the date on which the present Protocol enters into force shall take effect three months after the date of deposit.

3. After the date on which an amendment to the present Protocol is deemed to have been accepted in accordance with Article 16 of the Convention, any instrument of ratification, acceptance, approval or accession deposited shall apply to the present Protocol as amended.

#### ARTICLE VI

##### Amendments

The procedures set out in Article 16 of the Convention in respect of amendments to the Articles, an Annex and an Appendix to an Annex of the Convention shall apply respectively to amendments to the Articles, the Annex and an Appendix to the Annex of the present Protocol.

#### ARTICLE VII

##### Denunciation

1. The present Protocol may be denounced by any Party to the present Protocol at any time after the expiry of five years from the date on which the Protocol enters into force for that Party.

2. Denunciation shall be effected by the deposit of an instrument of denunciation with the Secretary-General of the Organization.

3. A denunciation shall take effect twelve months after receipt of the notification by the Secretary-General of the Organization or after the expiry of any other longer period which may be indicated in the notification.

## 第八条 寄託者

1 この議定書は、機関の事務局長（以下「寄託者」という。）に寄託する。

2 寄託者は、次のことを行う。

- (a) この議定書に署名し又は加入した国に対し、次の事項を通報すること。
  - (i) 署名及び署名の日並びに批准書、受諾書、承認書又は加入書の寄託及び寄託の日
  - (ii) この議定書の効力発生の日
  - (iii) この議定書の廃棄書の受領及び受領の日並びに廃棄が効力を生ずる日
  - (iv) 第二条 1 の規定に従って行われた決定
- (b) この議定書に署名し又は加入したすべての国にこの議定書の認証謄本を送付すること。

3 この議定書が効力を生じたときは、寄託者は、国際連合憲章第一百二条の規定により、この議定書の認証謄本を登録及び公表のため速やかに国際連合事務総長に送付する。

## 第九条 用語

この議定書は、ひとしく正文である英語、スペイン語、フランス語及びロシア語により原本一通を作成する。アラビア語、

一九七三年船舶汚染防止国際条約一九七八年議定書

## ARTICLE VIII

### Depositary

1. The present Protocol shall be deposited with the Secretary-General of the Organization (hereinafter referred to as "the Depositary").

2. The Depositary shall:

- (a) inform all States which have signed the present Protocol or acceded thereto of:
  - (i) each new signature or deposit of an instrument of ratification, acceptance, approval or accession, together with the date thereof;
  - (ii) the date of entry into force of the present Protocol;
  - (iii) the deposit of any instrument of denunciation of the present Protocol together with the date on which it was received and the date on which the denunciation takes effect;
  - (iv) any decision made in accordance with Article II(1) of the present Protocol;
- (b) transmit certified true copies of the present Protocol to all States which have signed the present Protocol or acceded thereto.

3. As soon as the present Protocol enters into force, a certified true copy thereof shall be transmitted by the Depositary to the Secretariat of the United Nations for registration and publication in accordance with Article 102 of the Charter of the United Nations.

## ARTICLE IX

### Languages

The present Protocol is established in a single original in the English, French, Russian and Spanish languages, each text being equally authentic. Official translations in the Arabic, German,

イタリア語、ドイツ語及び日本語による公定訳文は、作成の上、署名済みの原本とともに寄託する。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの議定書に署名した。

千九百七十八年二月十七日にロンドンで作成した。

附 属 書

附 属 書 千九百七十三年の船舶による汚染の防止のための  
の国際条約の修正及び追加

附 属 書 I

附 属 書 I 油による汚染の防止のための規則

第一規則 定義

条約附属書I第一規則の規定を、次の修正及び追加をした上で、適用する。

- (8) (a) (8)を次のように改める。
- (i) 「主要な改造」とは、現存船の次の改造をいう。
- 船舶の寸法又は積載容量を実質的に変更する改造

Italian and Japanese languages shall be prepared and deposited with the signed original.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned being duly authorized by their respective Governments for that purpose have signed the present Protocol.

DONE AT LONDON this seventeenth day of February one thousand nine hundred and seventy-eight.

ANNEX

MODIFICATIONS AND ADDITIONS TO THE INTERNATIONAL CONVENTION  
FOR THE PREVENTION OF POLLUTION FROM SHIPS, 1973

ANNEX I

REGULATIONS FOR THE PREVENTION OF POLLUTION BY OIL

Regulation 1  
Definitions

Paragraphs (1) to (7) - No change

The existing text of paragraph (8) is replaced by the following:

- (8) (a) 'Major conversion' means a conversion of an existing ship:
- (i) which substantially alters the dimensions or carrying



(ii) 船舶の種類を変更する改造

(iii) その目的が船舶の耐用年数の実質的な延長であると主管庁が認める改造

(iv) その他の点で船舶に大幅な変更を加える改造であつて、当該船舶が新船であつたとしたならば現存船に適用されない千九百七十三年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する千九百七十八年の議定書（以下「千九百七十八年の議定書」という。）の関連規定の適用を受けることとなるようなもの

(b) (a)の規定にかかわらず、現存船である載貨重量二万トン以上の油タンカーを第十三規則の要件に適合するように改造することは、この附属書の適用上、主要な改造とみなさない。

(23) を次のように改める。

(23) 「輕荷重量」とは、貨物、燃料、潤滑油、バラスト水、タ

ンク内の清水及び養缶水、消耗貯蔵品並びに旅客及び乗組員並びにその手回品を除く船舶の排水量をメートル・トンで表したものをいう。

(25) の次に次の(26)から(30)までを加える。

(26) (6)の規定にかかわらず、第十三規則、第十三B規則、第十三E規則及び第十八規則(5)の規定の適用上、「新船である油タンカー」とは、次の油タンカーをいう。

(a) 千九百七十九年六月一日後に建造契約が結ばれる油タンカー

一九七三年船舶汚染防止国際条約一九七八年議定書

capacity of the ship; or

(ii) which changes the type of the ship; or

(iii) the intent of which in the opinion of the Administration is substantially to prolong its life; or

(iv) which otherwise so alters the ship that, if it were a new ship, it would become subject to relevant provisions of the present Protocol not applicable to it as an existing ship.

(b) Notwithstanding the provisions of sub-paragraph (a) of this paragraph, conversion of an existing oil tanker of 20,000 tons dead-weight and above to meet the requirements of Regulation 13 of this Annex shall not be deemed to constitute a major conversion for the purposes of this Annex.

Paragraphs (9) to (22) - No change

The existing text of paragraph (23) is replaced by the following:

(23) "Lightweight" means the displacement of a ship in metric tons without cargo, fuel, lubricating oil, ballast water, fresh water and feed water in tanks, consumable stores, and passengers and crew and their effects.

Paragraphs (24) and (25) - No change

The following paragraphs are added to the existing text:

(26) Notwithstanding the provisions of paragraph (6) of this Regulation, for the purposes of Regulations 13, 13B, 13E and 18(5) of this Annex, "new oil tanker" means an oil tanker:

(a) for which the building contract is placed after 1 June 1979; or

- (b) 建造契約がない場合には、千九百八十年一月一日後にキールが据え付けられる油タンカー又はこれと同様の建造段階にある油タンカー
- (c) 千九百八十二年六月一日後に引渡しが行われる油タンカー
- (d) 主要な改造が行われる油タンカーであつて次の条件を満たすもの
- (i) 改造契約の締結が千九百七十九年六月一日後であること。
- (ii) 改造契約がない場合には、工事の開始が千九百八十年一月一日後であること。
- (iii) 工事の完了が千九百八十二年六月一日後であること。
- ただし、第十三規則(1)の規定の適用上、載貨重量七万トン以上の油タンカーについては、(6)の定義を適用する。
- (7)の規定にかかわらず、第十三規則から第十三D規則まで及び第十八規則(6)の規定の適用上、「現存船である油タンカー」とは、(26)に定義する新船である油タンカーでない油タンカーをいう。
- (28) 「原油」とは、運送に適するように処理してあるかないかを問わず、地中から産する天然の液状の炭化水素混合物をいい、次のものを含む。
- (a) 若干量の分留物が除去された原油
- (b) 若干量の分留物が添加された原油
- 「原油タンカー」とは、原油の運送に従事する油タンカー
- (29)

- (b) in the absence of a building contract, the keel of which is laid, or which is at a similar stage of construction after 1 January 1980, or
- (c) the delivery of which is after 1 June 1982; or
- (d) which has undergone a major conversion:
- (i) for which the contract is placed after 1 June 1979; or
- (ii) in the absence of a contract, the construction work of which is begun after 1 January 1980; or
- (iii) which is completed after 1 June 1982,
- except that, for oil tankers of 70,000 tons deadweight and above, the definition in paragraph (6) of this Regulation shall apply for the purposes of Regulation 13(1) of this Annex.
- (27) Notwithstanding the provisions of paragraph (7) of this Regulation, for the purposes of Regulations 13, 13A, 13C, 13D and 18(6) of this Annex, "existing oil tanker" means an oil tanker which is not a new oil tanker as defined in paragraph (26) of this Regulation.

(28) "Crude oil" means any liquid hydrocarbon mixture occurring naturally in the earth whether or not treated to render it suitable for transportation and includes:

- (a) crude oil from which certain distillate fractions may have been removed; and
- (b) crude oil to which certain distillate fractions may have been added.

(29) "Crude oil tanker" means an oil tanker engaged in the trade of

をいう。

(30) 「精製油運搬船」とは、原油以外の油の運送に従事する油タンカーをいう。

## 第二規則 適用

条約附属書 I 第二規則の規定を適用する。

第三規則 同等と認められる取付け物、材料、器具又は装置

条約附属書 I 第三規則の規定を適用する。

## 第四規則 検査

条約附属書 I 第四規則の規定を、次のように改めた上で、適用する。

(1) 総トン数百五十トン以上の油タンカー及び油タンカー以外の船舶で総トン数四百トン以上のものは、次に定める検査を受ける。

(a) 船舶の就航前又は第五規則の要求する証書が初めて発給される前に行われる最初の検査。この検査には、この附属書が当該船舶に適用される限り、構造、設備、装置、取付け物、配置及び材料の完全な検査を含める。この検査は、構造、設備、装置、取付け物、配置及び材料がこの附属書

carrying crude oil.

(30) "Product carrier" means an oil tanker engaged in the trade of carrying oil other than crude oil.

## Regulations 2 and 3 - No Change

## Regulation 4

The existing text of Regulation 4 is replaced by the following:

## Surveys and Inspections

(1) Every oil tanker of 150 tons gross tonnage and above, and every other ship of 400 tons gross tonnage and above shall be subject to the surveys specified below:

(a) An initial survey before the ship is put in service or before the Certificate required under Regulation 5 of this Annex is issued for the first time, which shall include a complete survey of its structure, equipment, systems, fittings, arrangements and material in so far as the ship is covered by this Annex. This survey shall be such as to ensure that

に定める関係要件に完全に適合することを確保するものでなければならぬ。

- (b) 主管庁の定める五年を超えない間隔で行われる定期的検査。この検査は、構造、設備、装置、取付け物、配置及び材料がこの附属書に定める関係要件に完全に適合することを確認するものでなければならない。

- (c) 国際油汚染防止証書の有効期間内に少なくとも一回行われる中間検査。この検査は、設備並びに関連するポンプ及び管系（油排出監視制御装置、原油洗浄装置、油水分離器及び油除去装置を含む。）がこの附属書に定める関係要件に完全に適合しており、かつ、良好な作動状態にあることを確保するものでなければならない。証書の有効期間内にこの検査を一回のみ行う場合には、当該有効期間の二分の一に相当する期間を経過する日の前後六箇月以内に行う。この検査を行った場合には、第五規則の規定に基づいて発給される証書に裏書をする。

- (2) 主管庁は、(1)の規定が適用されない船舶がこの附属書の関係規定に適合することを確保するため適当な措置をとる。

- (3) (a) この附属書の実施に関する船舶の検査は、主管庁の職員が行う。もつとも、主管庁は、自己の指名する検査員又は自己の認定する団体に検査を委託することができる。

- (b) 主管庁は、証書の有効期間内に不定期の検査を行うための措置をとる。この検査は、船舶及びその設備がその船舶

the structure, equipment, systems, fittings, arrangements and material fully comply with the applicable requirements of this Annex.

- (b) Periodical surveys at intervals specified by the Administration, but not exceeding five years, which shall be such as to ensure that the structure, equipment, systems, fittings, arrangements and material fully comply with the requirements of this Annex.

- (c) A minimum of one intermediate survey during the period of validity of the Certificate which shall be such as to ensure that the equipment and associated pump and piping systems, including oil discharge monitoring and control systems, crude oil washing systems, oily-water separating equipment and oil filtering systems, fully comply with the applicable requirements of this Annex and are in good working order. In cases where only one such intermediate survey is carried out in any one Certificate validity period, it shall be held not before six months prior to, nor later than six months after the half-way date of the Certificate's period of validity. Such intermediate surveys shall be endorsed on the Certificate issued under Regulation 5 of this Annex.

- (2) The Administration shall establish appropriate measures for ships which are not subject to the provisions of paragraph (1) of this Regulation in order to ensure that the applicable provisions of this Annex are complied with.

- (3) (a) Surveys of ships as regards the enforcement of the provisions of this Annex shall be carried out by officers of the Administration. The Administration may, however, entrust the surveys either to surveyors nominated for the purpose or to organizations recognized by it.

- (b) The Administration shall institute arrangements for unscheduled inspections to be carried out during the period of validity of the Certificate. Such inspections shall ensure that the

の予定された用途にすべての点において適合することを確保するものでなければならない。この検査は、主管庁の検査機関、指名された検査員若しくは認定された団体又は主管庁から要請された他の締約国によつて行われるものとする。この検査は、主管庁が(1)の規定により強制的な検査を毎年行う場合には、義務的ではない。

(c) (a)及び(b)の規定により検査を行う検査員を指名し又は団体を認定する主管庁は、自己の指名する検査員又は自己の認定する団体に対し少なくとも次のことを行う権限を与える。

- (i) 船舶の修理を要求すること。
- (ii) 寄港国の当局からの要請に応じて検査を行うこと。

主管庁は、指名した検査員及び認定した団体に与える権限についてその責任の範囲及び条件を機関に通報するものとし、機関は、千九百七十八年の議定書の締約国の職員が了解するよう当該締約国に対しその通報を回章に付する。

(d) 指名された検査員又は認定された団体は、船舶若しくはその設備の状態が実質的に証書の記載事項どおりでないと認める場合又は船舶若しくはその設備の状態が航行に際して海洋環境に不当に害を与えると認める場合には、速やかに是正措置がとられることを確保するものとし、主管庁に通報する。是正措置がとられない場合には、証書を回収するものとし、速やかに主管庁に通報する。船舶が他の締約国の港にあるときは、寄港国の当局にも速やかに通報す

ship and its equipment remain in all respects satisfactory for the service for which the ship is intended. These inspections may be carried out by their own inspection services, or by nominated surveyors or by recognized organizations, or by other Parties upon request of the Administration. Where the Administration, under the provisions of paragraph (1) of this Regulation, establishes mandatory annual surveys, the above unscheduled inspections shall not be obligatory.

(c) An Administration nominating surveyors or recognizing organizations to conduct surveys and inspections as set forth in sub-paragraphs (a) and (b) of this paragraph, shall as a minimum empower any nominated surveyor or recognized organization to:

- (i) require repairs to a ship; and
- (ii) carry out surveys and inspections if requested by the appropriate authorities of a Port State.

The Administration shall notify the Organization of the specific responsibilities and conditions of the authority delegated to the nominated surveyors or recognized organizations, for circulation to Parties to the present Protocol for the information of their officers.

(d) When a nominated surveyor or recognized organization determines that the condition of the ship or its equipment does not correspond substantially with the particulars of the Certificate or is such that the ship is not fit to proceed to sea without presenting an unreasonable threat of harm to the marine environment, such surveyor or organization shall immediately ensure that corrective action is taken and shall in due course notify the Administration. If such corrective action is not taken the Certificate should be withdrawn and the Administration shall be notified immediately; and if the ship is in a port of another Party, the appropriate authorities of the Port State shall also be notified immediately. When an officer of the Administration, a nominated

る。主管庁の職員、指名された検査員又は認定された団体が寄港国の当局に通報した場合には、寄港国の政府は、これらの職員、検査員又は団体に對し、この第四規則に基づく義務の遂行に必要な援助を与える。寄港国の政府は、当該船舶が海洋環境に不当に害を与えることなく航行すること（利用可能な最寄りの適当な修理施設へ向かう目的で出港することを含む。）ができるようになるまで、当該船舶を航行させないための措置をとる。

(e) 主管庁は、あらゆる場合において、検査の完全性及び実効性を十分に保証するものとし、この義務の履行のため必要な措置をとる。

(4) (a) 船舶及びその設備の状態は、船舶が海洋環境に不当に害を与えることなく航行することを確保するため、すべての点において千九百七十八年の議定書に適合するように維持する。

(b) (1)の規定に基づく船舶の検査の完了後は、主管庁の許可を受けない限り、検査の対象となる構造、設備、装置、取付け物、配置又は材料の変更を行つてはならない。ただし、これらの設備又は取付け物を直接交換する場合を除く。

(c) 船舶に事故が生じた場合又は船舶の保安全性若しくはこの附属書の適用を受ける設備の実効性若しくは完全性に実質的な影響を及ぼす欠陥が発見された場合には、当該船舶の船長又は所有者は、できる限り速やかに証書の発給について

surveyor or recognized organization has notified the appropriate authorities of the Port State, the Government of the Port State concerned shall give such officer, surveyor or organization any necessary assistance to carry out their obligations under this Regulation. When applicable, the Government of the Port State concerned shall take such steps as will ensure that the ship shall not sail until it can proceed to sea or leave the port for the purpose of proceeding to the nearest appropriate repair yard available without presenting an unreasonable threat of harm to the marine environment.

(e) In every case, the Administration concerned shall fully guarantee the completeness and efficiency of the survey and inspection and shall undertake to ensure the necessary arrangements to satisfy this obligation.

(4) (a) The condition of the ship and its equipment shall be maintained to conform with the provisions of the present Protocol to ensure that the ship in all respects will remain fit to proceed to sea without presenting an unreasonable threat of harm to the marine environment.

(b) After any survey of the ship under paragraph (1) of this Regulation has been completed, no change shall be made in the structure, equipment, systems, fittings, arrangements or material covered by the survey, without the sanction of the Administration, except the direct replacement of such equipment and fittings.

(c) Whenever an accident occurs to a ship or a defect is discovered which substantially affects the integrity of the ship or the efficiency or completeness of its equipment covered by this Annex the master or owner of the ship shall report at the earliest opportunity to the Administration, the recognized organization or the nominated surveyor responsible for issuing the relevant Certificate, who shall cause investigations to be initiated to

て責任を有する主管庁、指名された検査員又は認定された団体に報告するものとし、報告を受けた者は、(1)の規定により要求されるような検査が必要であるかないかを決定するための調査を開始する。当該船舶が他の締約国の港にある場合には、当該船舶の船長又は所有者は、当該他の締約国の当局にも速やかに報告するものとし、指名された検査員又は認定された団体は、この報告が行われたことを確認する。

#### 第五規則 証書の発給

条約附属書I第五規則の規定を、国際油汚染防止証書の語に付されている「(千九百七十二年)」の語を削除した上で、適用する。

#### 第六規則 旗国以外の締約国の政府による証書の発給

条約附属書I第六規則の規定を、国際油汚染防止証書の語に付されている「(千九百七十二年)」の語を削除した上で、適用する。

#### 第七規則 証書の様式

条約附属書I第七規則の規定を、国際油汚染防止証書の語に付されている「(千九百七十二年)」の語を削除した上で、適用する。

一九七三年船舶汚染防止国際条約一九七八年議定書

determine whether a survey as required by paragraph (1) of this Regulation is necessary. If the ship is in a port of another Party, the master or owner shall also report immediately to the appropriate authorities of the Port State and the nominated surveyor or recognized organization shall ascertain that such report has been made.

Regulations 5, 6 and 7

In the existing text of these Regulations, delete all references to "1973" in relation to the International Oil Pollution Prevention Certificate.

第八規則 証書の有効期間

条約附属書Ⅰ第八規則の規定を、次のように改めた上で、適用する。

- (1) 国際油汚染防止証書は、発給の日から五年を超えない範囲内で主管庁が定める期間について、発給する。ただし、第十三規則(9)に定める期間クリーン・バラスト・タンクを用いて運航する油タンカーにあつては、証書の有効期間は、同規則(9)に定める期間を超えてはならない。

- (2) 主管庁の許可を受けることなく構造、設備、装置、取付け物、配置若しくは材料に重要な変更を行つた場合(これらの設備又は取付け物を直接交換する場合を除く。)又は第四規則(1)(c)の規定に基づいて主管庁の定める間隔で中間検査を受けなかつた場合には、証書は、効力を失う。

- (3) 船舶が他の国を旗国となつた場合には、証書は、効力を失う。新たな証書は、これを発給する政府が当該船舶が第四規則(4)(a)及び(b)の要件に適合していると認めた場合のみ発給される。船舶が他の締約国を旗国とすることとなつた場合において船舶の旗国であつた締約国の政府がその後三箇月以内に要請を受けたときは、当該政府は、できる限り速やかに、当該船舶が有していた証書の写し及び可能なときは検査の報告書の写しを主管庁に送付する。

第九規則 油の排出規制

Regulation 8

Duration of Certificate

The existing text of Regulation 8 is replaced by the following:

- (1) An International Oil Pollution Prevention Certificate shall be issued for a period specified by the Administration, which shall not exceed five years from the date of issue, provided that in the case of an oil tanker operating with dedicated clean ballast tanks for a limited period specified in Regulation 13(9) of this Annex, the period of validity of the Certificate shall not exceed such specified period.

- (2) A Certificate shall cease to be valid if significant alterations have taken place in the construction, equipment, systems, fittings, arrangements or material required without the sanction of the Administration, except the direct replacement of such equipment or fittings, or if intermediate surveys as specified by the Administration under Regulation 4(1)(c) of this Annex are not carried out.

- (3) A Certificate issued to a ship shall also cease to be valid upon transfer of the ship to the flag of another State. A new Certificate shall only be issued when the Government issuing the new Certificate is fully satisfied that the ship is in full compliance with the requirements of Regulation 4(4)(a) and (b) of this Annex. In the case of a transfer between Parties, if requested within three months after the transfer has taken place, the Government of the Party whose flag the ship was formerly entitled to fly shall transmit as soon as possible to the Administration a copy of the Certificate carried by the ship before the transfer and, if available, a copy of the relevant survey report.

Regulations 9 to 12 - No change

The existing text of Regulation 13 is replaced by the following

Regulations:



条約附属書Ⅰ第九規則の規定を適用する。

第十規則 特別海域において運航している船舶からの油による汚染の防止のための方法

条約附属書Ⅰ第十規則の規定を適用する。

第十一規則 適用除外

条約附属書Ⅰ第十一規則の規定を適用する。

第十二規則 受入施設

条約附属書Ⅰ第十二規則の規定を適用する。

第十三規則 分離バラスト油タンカー

条約附属書Ⅰ第十三規則の規定を、次のように改めた上で、適用する。

第十三規則 分離バラスト・タンク、クリーン・バラスト・タンク及び原油洗浄

第十三C規則及び第十三D規則の規定の適用がある場合を除くほか、油タンカーは、この第十三規則の要件に適合するものとする。

(新船である載貨重量二万トン以上の油タンカー)

(1) 新船である載貨重量二万トン以上の原油タンカー及び新船である載貨重量三万トン以上の精製油運搬船は、分離バラスト・タンクを備えるものとし、また、(2)から(4)までの要件又は(5)の要件に適合するものとする。

(2) 分離バラスト・タンクの容積は、(3)又は(4)に定める場合を除き貨物タンクを水バラスト用に使用することなく安全なバラスト航海ができるようなものでなければならない。いかなる場合においても、分離バラスト・タンクの容積は、全航海を通じてのあらゆるバラスト状態(軽荷状態に分離バラストのみを積載した状態を含む。)において、少なくとも、船舶の喫水及びトリムが次の要件を満たすことのできるものでなければならない。

(a) モートルで表す船舶の中央における型喫水(dm)(船舶のいかなる変形も考慮しない。)が次の式で得られる値よりも小さい値でないこと。

$$20 + 0.02L$$

(b) 船首垂線及び船尾垂線における喫水が、(a)に定める船舶の中央における型喫水(dm)の要件を満たすようなものであり、かつ、船尾トリムが○・○・五L以下となるようなものであること。

(c) 船尾垂線における喫水が、いかなる場合においても、プロペラを完全に水没させるために必要な喫水に満たないものでないこと。

(3) 船長が船舶の安全のために貨物タンクに追加のバラスト水

New oil tankers of 20,000 tons deadweight and above

(1) Every new crude oil tanker of 20,000 tons deadweight and above and every new product carrier of 30,000 tons deadweight and above shall be provided with segregated ballast tanks and shall comply with paragraphs (2), (3) and (4), or paragraph (5) as appropriate, of this Regulation.

(2) The capacity of the segregated ballast tanks shall be so determined that the ship may operate safely on ballast voyages without recourse to the use of cargo tanks for water ballast except as provided for in paragraph (3) or (4) of this Regulation. In all cases, however, the capacity of segregated ballast tanks shall be at least such that, in any ballast condition at any part of the voyage, including the conditions consisting of lightweight plus segregated ballast only, the ship's draughts and trim can meet each of the following requirements:

(a) the moulded draught amidships (dm) in metres (without taking into account any ship's deformation) shall not be less than:

$$dm = 2.0 + 0.02L;$$

(b) the draughts at the forward and after perpendiculars shall correspond to those determined by the draught amidships (dm) as specified in sub-paragraph (a) of this paragraph, in association with the trim by the stern of not greater than 0.01L, and

(c) in any case the draught at the after perpendicular shall not be less than that which is necessary to obtain full immersion of the propeller(a).

(3) In no case shall ballast water be carried in cargo tanks except

を積載しなければならないと判断するほど厳しい天候状態における例外的な航海の場合を除くほか、貨物タンクにバラスト水を積載してはならない。この追加のバラスト水は、第九規則に定めるところにより及び第十五規則に定める要件に従つて処理し及び排出するものとし、第二十規則に定める油記録簿に記載する。

(4) 新船である原油タンカーについては、(3)の規定により認められる追加のバラスト水は、原油を取り卸した港又は係留施設を離れる前に第十三B規則の規定に従い原油洗浄が行われた貨物タンクにのみ積載する。

(5) (2)の規定にかかわらず、長さ百五十メートル未満の油タンカーは、主管庁の認める分離バラストの条件に適合するものとする。

(6) 新船である載貨重量二万トン以上の原油タンカーは、貨物タンク用の原油洗浄装置を備える。主管庁は、当該原油タンカーが原油洗浄に適する原油の運送に最初に従事してから一年を経過する時又は原油洗浄に適する原油を運送する第三回日の航海の終了時のいずれか遅い時までに、当該原油洗浄装置が第十三B規則の要件に十分に適合することを確保する。当該原油タンカーは、原油洗浄に適しない原油を運送する場合を除くほか、同規則の要件に従つて当該原油洗浄装置を操作する。

(現存船である載貨重量四万トン以上の原油タンカー)

(7) (8)及び(9)の規定に従うことを条件として、現存船である載貨重量四万トン以上の原油タンカーは、千九百七十八年の議

on those rare voyages when weather conditions are so severe that, in the opinion of the master, it is necessary to carry additional ballast water in cargo tanks for the safety of the ship. Such additional ballast water shall be processed and discharged in compliance with Regulation 9 of this Annex and in accordance with the requirements of Regulation 15 of this Annex and entry shall be made in the Oil Record Book referred to in Regulation 20 of this Annex.

(4) In the case of new crude oil tankers, the additional ballast permitted in paragraph (3) of this Regulation shall be carried in cargo tanks only if such tanks have been crude oil washed in accordance with Regulation 13B of this Annex before departure from an oil unloading port or terminal.

(5) Notwithstanding the provisions of paragraph (2) of this Regulation, the segregated ballast conditions for oil tankers less than 150 metres in length shall be to the satisfaction of the Administration.

(6) Every new crude oil tanker of 20,000 tons deadweight and above shall be fitted with a cargo tank cleaning system using crude oil washing. The Administration shall undertake to ensure that the system fully complies with the requirements of Regulation 13B of this Annex within one year after the tanker was first engaged in the trade of carrying crude oil or by the end of the third voyage carrying crude oil suitable for crude oil washing, whichever occurs later. Unless such oil tanker carries crude oil which is not suitable for crude oil washing, the oil tanker shall operate the system in accordance with the requirements of that Regulation.

Existing crude oil tankers of 10,000 tons deadweight and above

(7) Subject to the provisions of paragraphs (8) and (9) of this Regulation every existing crude oil tanker of 10,000 tons deadweight

定書の効力発生の日から分離バラスト・タンクを備えるものとし、また、(2)及び(3)の要件に適合するものとする。

- (8) (7)に規定する現存船である原油タンカーは、原油洗浄に適しない原油を運送する場合を除くほか、分離バラスト・タンクを備える代わりに第十三B規則の規定に従い原油洗浄による貨物タンク洗浄方式を用いて運航することができる。

- (9) (7)又は(8)に規定する現存船である原油タンカーは、次の期間については、分離バラスト・タンクを備える代わりに又は原油洗浄による貨物タンク洗浄方式を用いる代わりに、第十三A規則の規定によりクリーン・バラスト・タンクを用いて運航することができる。

- (a) 載貨重量七万トン以上の原油タンカーについては、千九百七十八年の議定書の効力発生の日の後二年間  
(b) 載貨重量四万トン以上七万トン未満の原油タンカーについては、千九百七十八年の議定書の効力発生の日の後四年間  
(現存船である載貨重量四万トン以上の精製油運搬船)

- (10) 現存船である載貨重量四万トン以上の精製油運搬船は、千九百七十八年の議定書の効力発生の日から、分離バラスト・タンクを備え、かつ、(2)及び(3)の要件に適合し、又はその代わりに第十三A規則に定めるところによりクリーン・バラスト・タンクを用いて運航する。

(分離バラスト油タンカーとしての資格を有する油タンカー)

- (11) (1)、(7)又は(10)の規定により分離バラスト・タンクを備えることを要求されない油タンカーであっても、(2)及び(3)の要件

and above shall be provided with segregated ballast tanks and shall comply with the requirements of paragraphs (2) and (3) of this Regulation from the date of entry into force of the present Protocol.

- (8) Existing crude oil tankers referred to in paragraph (7) of this Regulation may, in lieu of being provided with segregated ballast tanks, operate with a cargo tank cleaning procedure using crude oil washing in accordance with Regulation 13B of this Annex unless the crude oil tanker is intended to carry crude oil which is not suitable for crude oil washing.

- (9) Existing crude oil tankers referred to in paragraph (7) or (8) of this Regulation may, in lieu of being provided with segregated ballast tanks or operating with a cargo tank cleaning procedure using crude oil washing, operate with dedicated clean ballast tanks in accordance with the provisions of Regulation 13A of this Annex for the following period:

- (a) for crude oil tankers of 70,000 tons deadweight and above, until two years after the date of entry into force of the present Protocol; and  
(b) for crude oil tankers of 40,000 tons deadweight and above but below 70,000 tons deadweight, until four years after the date of entry into force of the present Protocol

Existing product carriers of 40,000 tons deadweight and above

- (10) From the date of entry into force of the present Protocol, every existing product carrier of 40,000 tons deadweight and above shall be provided with segregated ballast tanks and shall comply with the requirements of paragraphs (2) and (3) of this Regulation, or, alternatively, operate with dedicated clean ballast tanks in accordance with the provisions of Regulation 13A of this Annex.

An oil tanker qualified as a segregated ballast oil tanker

- (11) Any oil tanker which is not required to be provided with segregated ballast tanks in accordance with paragraph (1), (7) or (10) of this Regulation may, however, be qualified as a segregated